

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「だいひむけんじょうしやうが
大悲無倦常照我」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じ
ます。

私が二年前にブータンに行かせていただいた
ときにご一緒した、久保さんという大阪の
お寺のお嬢さんがいらつしやいます。広島で
の研修でときどきお会いするのですが、今回
は彼女がこの六月に法話でお話しされたこと
を書きたいと思えます。

実は、久保さんのお父さん（お寺の住職で
した）は昨年の十月に六十八歳で亡くなられ
ました。交通事故、それもひき逃げというな
んとも悲しいご縁だったのです。お花が大好
きで、いつも境内にはたくさんのお花が咲い
ていたそうです。ツツジも栽培されていて、
春のご法座の時に満開になって、お参りのご
門徒さんの目を楽しませておられたそうで
す。そんな優しいお父さんでしたが、やはり
父と娘ですから、いろいろぶつかるとも
あったようです。

また、お父さんはボ
ランテア活動にも熱
心で、近所のお掃除を
したり、花壇の手入れ
をしたりという活動も
されていたようです。

このたびの事故は、まさにボランテア活動
で、早朝にお掃除をしていらつしやったとき
に起きました。通勤途中の軽自動車にはねら
れてしまったのです。頭を強く打って意識不
明の末に亡くなられました。犯人はすぐに捕
まりました。介護士の青年でした。

ボランテイ
アをしていて
亡くなるとは
皮肉なこと
ですが、これ
が娑婆世界、何
が起きるかわ
からない無常
の世の姿です。



悲しみの中

でどうにかお葬式もすみました。住職がい
なくなつた久保さんのお寺では、それから
たいへんでした。お寺のこと、今までご住職
がされていたお葬式やご法事や月参りは久保
さんとお母さんですべてしなければならな
なつたのです。慌ただしさの中で月日は流

御正忌にお参りください。
18日（火） 昼2時・夜7時

れ、境内のツツジもまったく世話をすること
もありませんでしたが、この春にはきれいな
花を咲かせたそうです。その花を見ると、一
生懸命に世話をしていたお父さんを思い出し
て辛く、涙がとまらなかつたということ
です。

そんなある日、月参りであるおばあちゃん
とお話をしていたところ、そのおばあちゃん
が「いつもお花がきれいですね」と言われた
ので、境内の花のことだと思つた久保さんは
「そうなんですよ」と話を続けていきました
が、どうも話がかみ合いません。なんでかな
と思つていたら、おばあちゃんが「毎日新し
なつてますね」と言われたのです。そのおば
あちゃんの言っている『お花』とは、事故現場
に供えられていたお花のことだったので

久保さんは、お父さんが亡くなられてか
ら、一度も事故現場に行つたことがなかつた
そうです。現場を通れば必ず事故のことを思
い出してしまいますものね。だから、お花が
供えられていたこと、それも毎日新しくなつ
ていたことなど、まったく知らなかつたので
す。

そのお花は、加害者の青年のお母さんが毎日供えていたのです。ひき逃げという大きな罪を犯してしまった馬鹿息子ですが、親として何かせすにはおれなかつたのでしよう。だからせめてもの償いとのおいで、毎日毎日新しいお花を供えていたのです。

大悲無倦常照我とは親鸞聖人が書かれたお正信偈の中の一節で源信僧都のお言葉です。煩惱によつて真実を見ることもできない、阿弥陀如来の『かならず救う』のご本願に気づくこともなく日々を過ごしている私を、如来の大慈悲は、ものうきことなく、常に私を撰取の光明で包み込んでくださつたのだなあと、喜びのお言葉です。どうしようもない息子であるが故に、何かせすにはおれなかつたお母さんのように、阿弥陀如来はこの私を一人子のように願いをかけ続けていてくださるのです。私たち真宗門徒が阿弥陀さまのことを「親さま」と親しみを込めて呼ばせていただくことがあるのはこういうことだつたのです。

加害者のご家族は、以前久保さんのお寺に謝罪に来られたことがあつたそうですが、久保さんは絶対会いたくないと言つて、会わなかつたそうです。でも、このお花のことがあつてから、久保さんは、加害者のお母さんに一度お会いしたいという気持ちになられたとおっしゃっていました。

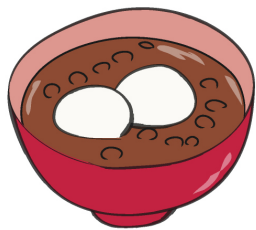
「御正忌が厳修されます」

日	14時〜	19時〜
18日 (火)	大速夜 正信偈 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拝読 法話一席

ご法話

福井市教應寺住職
本願寺布教使
奥田 順誓師です。

御正忌は親鸞さまのご命日をご縁にお勤まりになる法要です。親鸞さまは弘長二年十一月二十八日(今の暦で一二六三年一月二六日)に亡くなられました。西本願寺では一月に『御正忌報恩講』が勤められます。当山では今月の十八日にお勤まりになります。寒い時期ではありますが、皆様のお参りをお待ちいたしております。今年も昼夜ともに温かいぜんざいがふるまわれます。



「報恩講法要！ようこそそのお参りでした」

去る十月十六日と十七日に報恩講法要を執

り行いましたところ、大速夜には十五名、お初夜には十名、ご満座には三名のお参りをいただきました。ようこそそのお参りでございました。

「FMシアター放送！」

毎週土曜日の午後10時から50分間、NHKのFMラジオでラジオドラマがあるのをご存知ですか？昔ラジオしかなかったときに、『君の名は』というドラマが大流行したそうですが、今でもやっているんですよ。テレビのドラマよりも想像力が働いて、私は好きですね。このたびご縁があつて、1月19日に放送のラジオドラマに出演させていただくことになりました。福井が舞台のドラマですので、よろしかったらお聴き下さいね。全国放送ですので、遠方のご門徒さんどうぞ。私(若院)は畠山という写真家と主人公の祖父の二役です。

では、御正忌でお会いしましょう！

住職 内嶋洪淳(うちじま こうじゅん)

090-8261-3090

若院 内嶋淳浩(うちじま あつひろ)

090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com

※携帯電話に登録しましょう！